



しなやかな生き方

校長 鈴木 彰

夏休みが終わり、リスタートです。きっと、一人ひとり、まったく違う夏休みだったことでしょう。子どもたちそれぞれに意味の深い期間であったことと思います。

その一方で、今年の夏も、国内外で多くの人々が災害に見舞われました。熊本・千葉等で被災した方々など多くの被災者の皆様に謹んで哀悼の意を捧げます。

「〇〇年に一度の災害…」という言葉に「定期的に」といってよいほど聞くように思います。横浜でも7月の最終日、終業式の日「レベル4大雨警報」と「レベル4土砂災害危険警報」が発令され、生徒は「引き取り」の措置を取りました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。あまりに災害が身近になったことに危機感を覚え、私は、この夏、一生懸命に勉強して、防災士の資格取得の試験を受験しました。



夏の旅先で、こんな話を聞きました。その地方の人々は、少し昔のことですが「ずっと災害と共に生きてきた」という話でした。

最初に、「土間に物が吊ってあります。何が吊るされていると思いますか?」と尋ねられました。私には分かりません。聞くと、答えは「舟」とのことでした。決して海に近い家屋ではありません。でも、川の氾濫による洪水があれば、すぐに舟を下ろして避難できるように日頃から準備しているのだそうです。

また、「紐を引っ張ると、仏壇が2階に上がるような仕掛けになっている」、「1階の天井は簡単に開けられるようになっていて、床上浸水のときには、すぐに畳を天井裏に上げられるように造っている」など家の中にも多くの備えがあるそうです。普通の家は、外に壁があって内に障子や襖があると思いますが、その地方では逆の配置で造っているのだとか。理由を聞くと、その造りにしておくと、水害の後、障子を外せば中に入った土や泥をそのまま掃き出すことができるからなのだそうです。

「土手や堤防を造るなどのハード面での整備は大切です。しかし、自然現象に逆らうだけではなく、人の力で抗うことなどできない強大な大自然を受け入れ、その環境の中で『(災害と)共に生きていく』ことが大切なのです。」とのことでした。そして、「それは災害の面だけではないでしょう。最近、会社で辛いことがあるとすぐに辞めてしまったり、訴えようと考えたり…、そんな人が増えたけれど、その後の自分の人生のことを考えたら、その環境の中で柔軟に行動していくしなやかな生き方を身に付けることも大事なのではないのでしょうか。」とも話していました。

ちょうど防災士の勉強を必死にしていたときでしたから、様々な災害対策を考えていた私にとって、目から鱗が落ちるような話でした。

子どもたちにも、そんな「しなやかな生き方」の大切さを伝えたいなあと思いながら、今年の夏が終わっていきます。

主な行事予定

(変更する場合があります。学校からの最新のお知らせでご確認ください。)

月	日	曜	学校行事・生徒関係	その他
8月	26	水		
	27	木	始業式8:30 学級相談①②	S.C. 来校日
	28	金	学級相談③④	
	29	土		
	30	日		
	31	月	帰り学活後清掃なし ⑤卒アル4組 横浜こども会議	
9月	1	火	帰り学活後清掃なし 専門委員会15:50 ⑤⑥総合発表	
	2	水	柔道着販売8:00～8:25(1年1.2組) ⑤総合発表	
	3	木	柔道着販売8:00～8:25(1年3.4組) ⑥卒アル3組 帰り学活後清掃なし 生徒特別委員会15:50	S.C. 来校日
	4	金	学年朝会8:30 ※避難訓練5校時途中～引き取り訓練	
	5	土		
	6	日		
	7	月	教育実習開始	S.C. 来校日
	8	火	帰り学活後清掃なし ⑥全校プラットフォーム事業コンサート	
	9	水	⑤卒アル2組	
	10	木	2学期中間テスト	S.C. 来校日
	11	金	2学期中間テスト 総下校 部活動15:40再登校	
	12	土		
	13	日		
	14	月	土曜参観代休	
	15	火	合唱練習開始 ③④1年プラットフォーム事業	
	16	水	中評 (帰り学活後清掃なし)	S.C. 来校日
	17	木	生徒朝会8:30 ⑤卒アル1組	
	18	金	土曜参観日 ★昼食用意	
	19	土	⑥3年進路説明会、1,2年5校時後下校	
	20	日		
	21	月	敬老の日	
	22	火		
	23	水	秋分の日	
	24	木	帰り学活後清掃なし 総下校14:55	S.C. 来校日
	25	金	※ 3年英検、1,2年昼食後下校	
	26	土		
	27	日		
	28	月		S.C. 来校日
	29	火		
	30	水	※ 帰り学活含む 昼食なし	

☆19 日(土)は、土曜参観を行います。この日は給食がないので、**各家庭で弁当の準備**をお願いします。